

平成 29 年度 第 1 回安城市環境審議会議事録要旨

日 時	平成 30 年 2 月 9 日 (金) 午前 10 時～ 11 時	
場 所	安城市役所本庁舎第 10 会議室	
出席者	委 員	重澤会長、杉浦（朗）副会長、鈴木委員、岩瀬委員、神谷委員、竹内委員、島田委員、杉浦（ひ）委員、熊田委員、植手委員、中島委員
	事務局	副市長、環境部長、環境都市推進課長、環境都市推進課環境政策係長、環境都市推進課環境衛生係長、環境都市推進課職員
次 第	1 委嘱状交付 2 副市長あいさつ 3 委員自己紹介 4 会長及び副会長選出 5 報告事項 平成 29 年度版 環境基本計画年次報告「安城市環境報告書」について	

1 委嘱状交付

2 副市長あいさつ

3 新任委員自己紹介

4 会長及び副会長選出

会長：重澤委員

副会長：杉浦（朗）委員

5 報告事項

（1）平成 29 年度「安城市環境報告書」について（資料 1）

【事務局】

- ・環境報告書の構成
- ・環境指標の進捗状況

<資料に関する質問・意見>

【神谷委員】

成果指標「エコファーマー認定人数（のべ）」（環境報告書 19 ページ）の認定基準について知りたい。

【事務局】

愛知県が認定しており、市では基準を設定していない。環境報告書の進捗管理の際は、担当課（農務課）から愛知県農業改良普及課へ実績値を確認している。

【植手委員】

「根羽村グリーンツーリズム」（環境報告書 6 ページ）の主体は行政なのか。

【事務局】

この事例は、市民主体で行っているものである。

【岩瀬委員】

成果指標「市内における次世代自動車普及台数」（環境報告書 9 ページ）について、「次世代自動車」の定義は何か。また、普及台数はどうやって数えているのか。

【事務局】

安城市では、F C V（燃料電池自動車）、E V（電気自動車）、P H V（プラグインハイブリッド自動車）、L E V（超小型電気自動車）の 4 種類を対象としている。普及台数は、次世代自動車購入費補助金の交付件数を実績値としている。

【竹内委員】

成果指標「市内での再生可能エネルギーによる発電容量の合計」（環境報告書 8 ページ）は、どのように把握しているのか。

【事務局】

資源エネルギー庁が公開している統計を使用している。

【竹内委員】

水循環についての知識が多くの人に広がらないことが問題である。安城市では「資源が循環するまちづくり」を掲げているが、どのような対象へ広めていくのか。

【事務局】

安城市では、市内の小学生を対象とした「わくわくネイチャースクール」を開催し、根羽村へ子どもたちを連れていくことで水の大切さを啓発している。また、根羽村の木のおもちゃを使った「木づかいイベント」も公民館などで開催し、年 3 回ほど行った。その他に、エコネットあんじょうに委託する形で啓発イベントを開催している。

【神谷委員】

エコネットあんじょうでは、団体独自の活動として、茶臼山の野外センターで、リーフレットを作って子どもたちに水循環の大切さを学んでもらう活動をしている。これからも市と協働して啓発を進めていきたい。

【中島委員】

成果指標「再生可能エネルギーによる発電容量」（環境報告書 8 ページ）は、1 0 k w 未満の一般的な家庭用の太陽光発電だけでなく、中規模・大規模な 1 0 k w 以上の発電設備も合計に含まれているのか。

【事務局】

1 0 k w 以上のものも含まれている。

（以上）